



2009年度 「エコシティたかつ」 事業報告

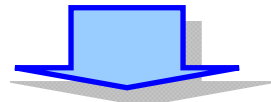
「エコシティたかつ」推進会議





「エコシティたかつ」推進方針とは

環境課題に対し
地域の多様な主体が協力し
総合的・多面的な取組を推進



基本方針・行動するための指針





流域思考



流域とは、降った雨が
集まる大地の範囲の
ことです。
流域は水の循環や生
き物の生息環境を考
える大事な基盤です。





推進方針の計画期間

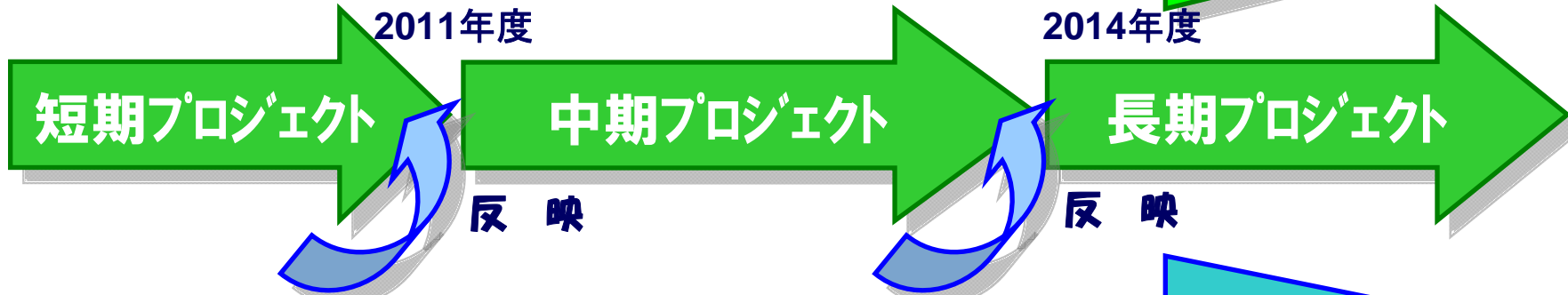
2009年度

2018年度



2011年度

2014年度





推進方針の構成

基本理念

地球環境危機の時代に対応した、自然の賑わいとともにある
持続可能な循環型都市構造の再生と創造

3つの基本目標

低炭素・省資源社会の実現

自然共生型都市再生の推進

地域に即した防災
まちづくりの推進

行動計画

短期は12のプロジェクトを設定(そのうち6つをリーディングプロジェクトとする)

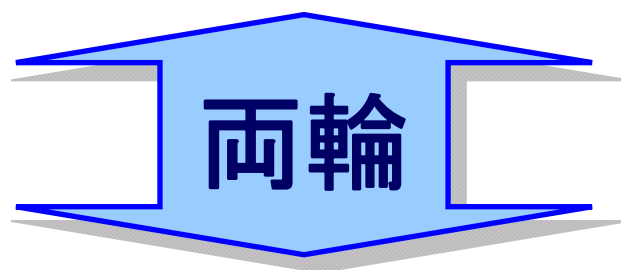




推進方針のポイント

緩和策

温室効果ガス排出の削減や吸収策



適応策

気候変動がもたらす水災害や生物多様性の減少等、悪影響への対応策





JICA研修の受け入れ



2009年11月 西バルカン諸国



JICA研修の受け入れ



2009年11月 西バルカン諸国



JICA研修の受け入れ



2010年2月 メキシコ



JICA研修の受け入れ



2010年2月 メキシコ



推進方針の基本理念

「地球環境危機の時代に対応した、
自然の賑わいとともにある持続可能な
循環型都市構造の再生と創造」

～100年後のたかつのまちのために～





推進方針の基本目標

- I 低炭素・省資源社会の実現
- II 自然共生型都市再生の推進
- III 地域に即した防災まちづくり
の推進



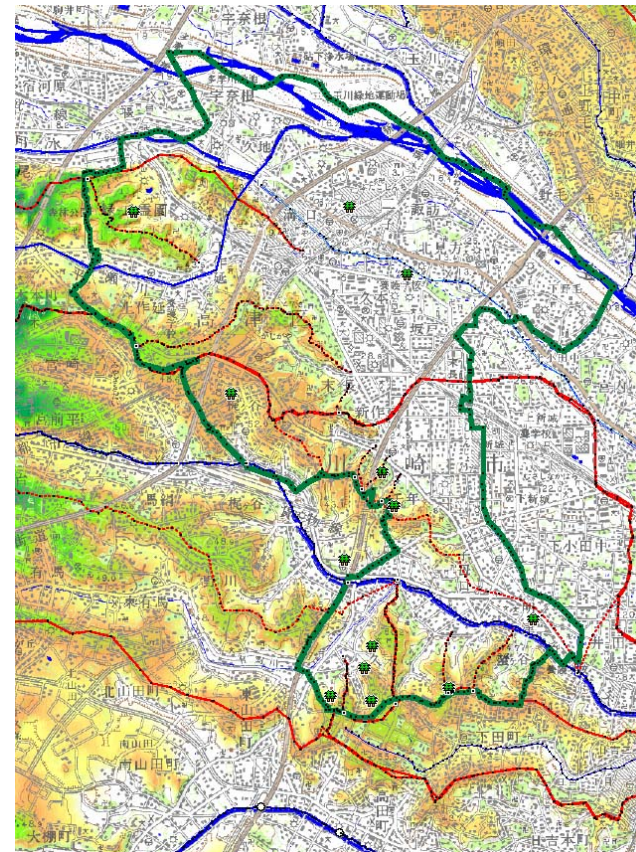


「リーディングプロジェクト」

★地図による地域環境資源の共有化の促進

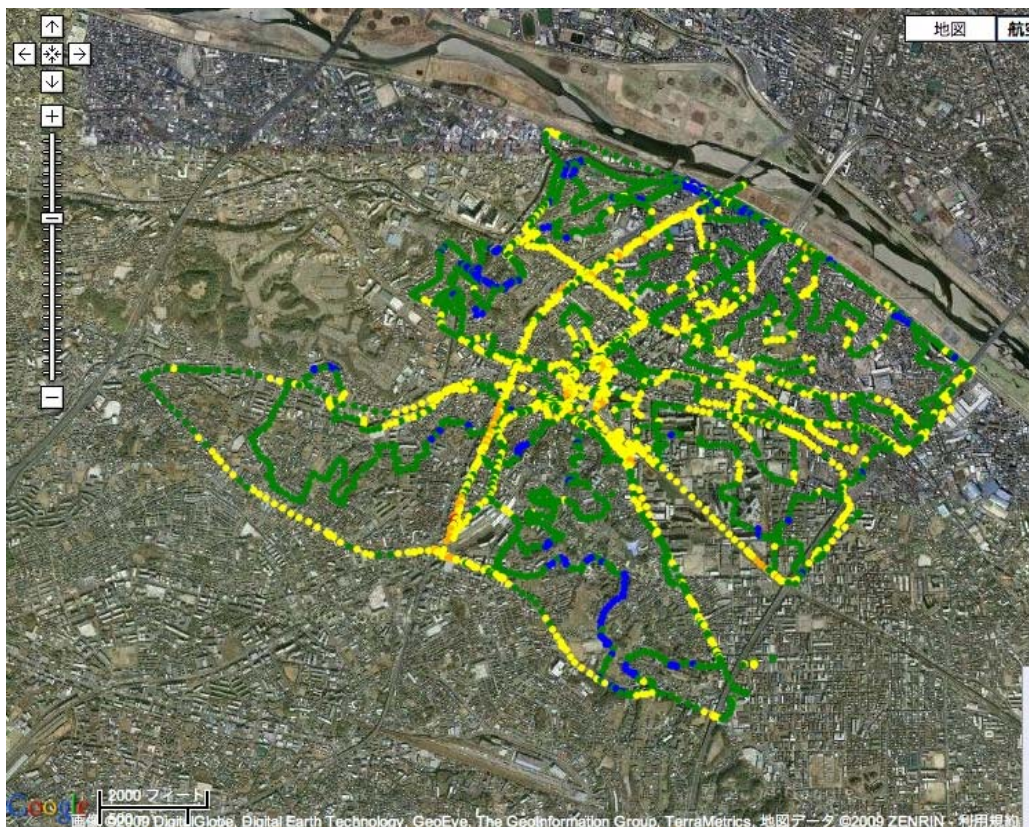


- 凡例
- 台地
 - 低地
 - 斜面/産線
 - 行政界
 - 流域界
 - 河川
 - 市街化調整区域
 - 学校
 - 区役所





ヒートアイランド調査





大地のでこぼこを感じよう



2010年1月23日 実施



「リーディングプロジェクト」

★学校流域プロジェクト



学校ビオトープのネットワーク

★生き物が行き来できるように、区内に一定距離ごとにある学校を生き物の拠点としてみよう。

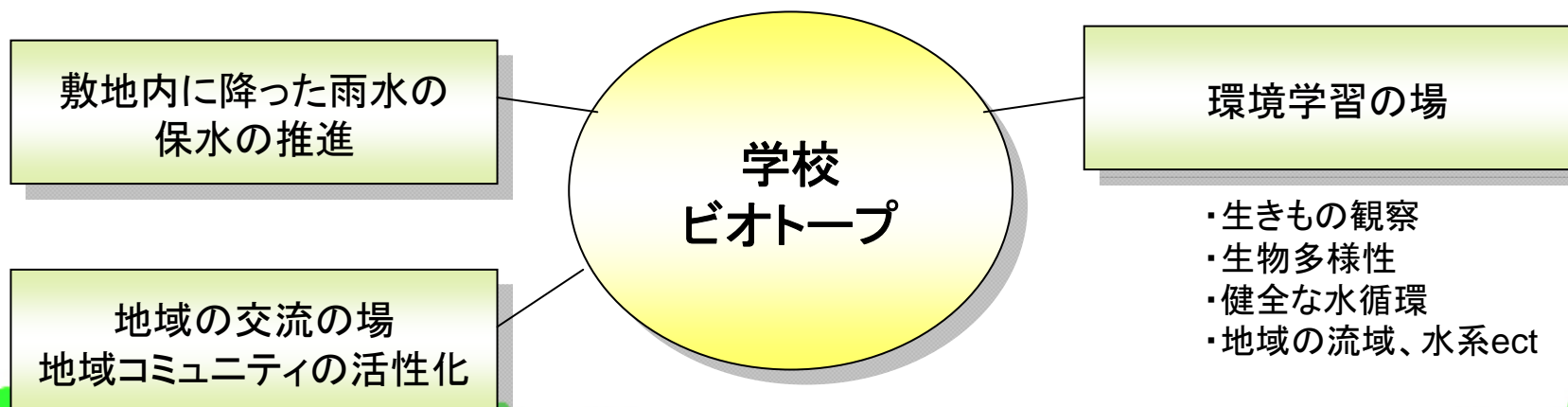


ec-city
takatsu



学校流域プロジェクト

区内15の小学校にビオトープを作ったり、降った雨を活用するなどの整備を行い、将来を担う子どもたちが、身近な場所で自然や水循環の仕組み、さらには自然再生の過程を実感する場として、計画的に整備、活動支援を行う。





久本小学校の事例



久本小ビオトープの特徴

- ・1985年施行のこれまで有効に活用されていなかったビオトープの問題点を子どもたちが考え、生きものたちが暮らしやすい場所に再整備した。
- ・通常の授業の中で、身近な生きもの観察の場として活用している。
- ・プール開きの前に、ヤゴなどの生きもの救出活動を行なって、ビオトープに放流している。





梶ヶ谷小学校の事例

梶ヶ谷小ビオトープの特徴

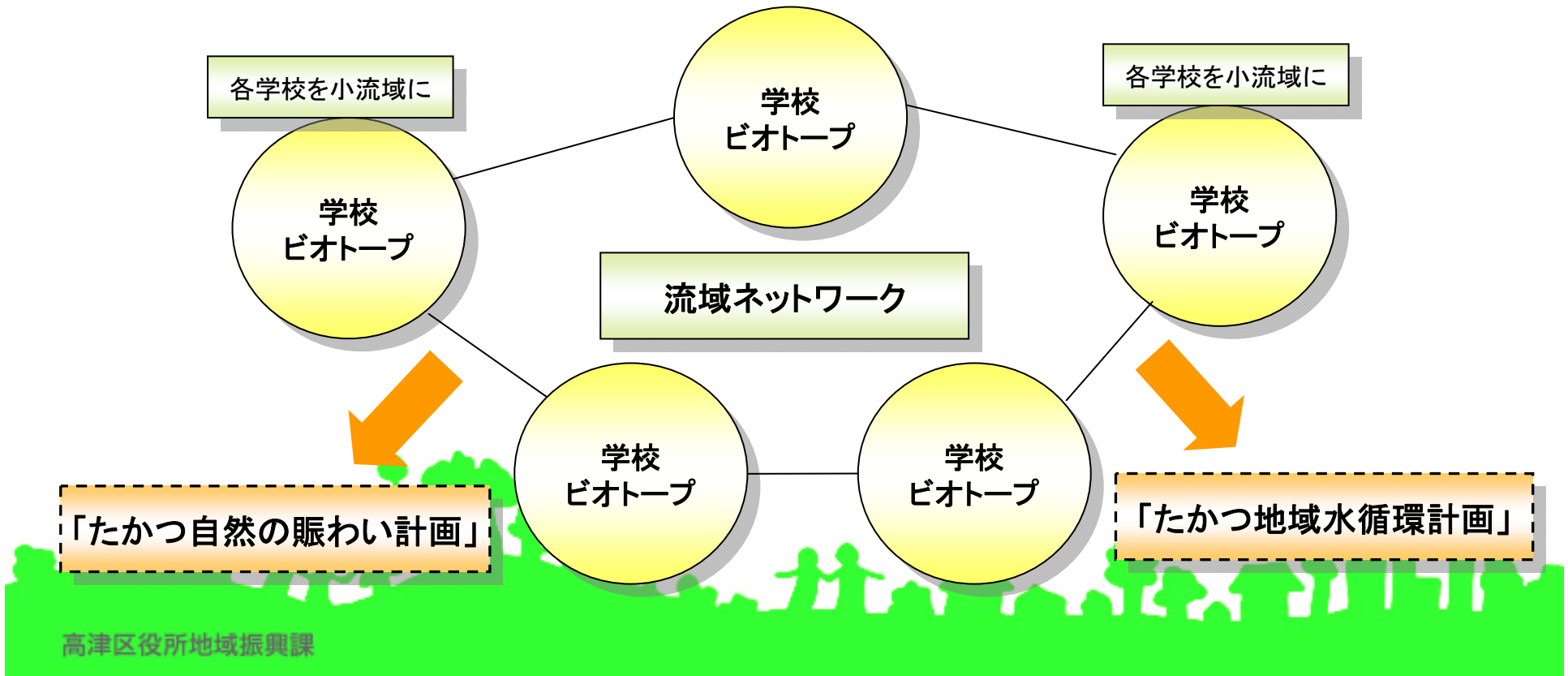
- ・既存の活用されていなかったビオトープを見直し、生きものが暮らしやすいビオトープに整備を行った。
- ・通常の授業の中で、身近な生きもの観察の場として活用している。
- ・ビオトープ脇に井戸を子どもたちが掘り、地下水を活用した水を活用している。





長期的なプロジェクトとのつながり

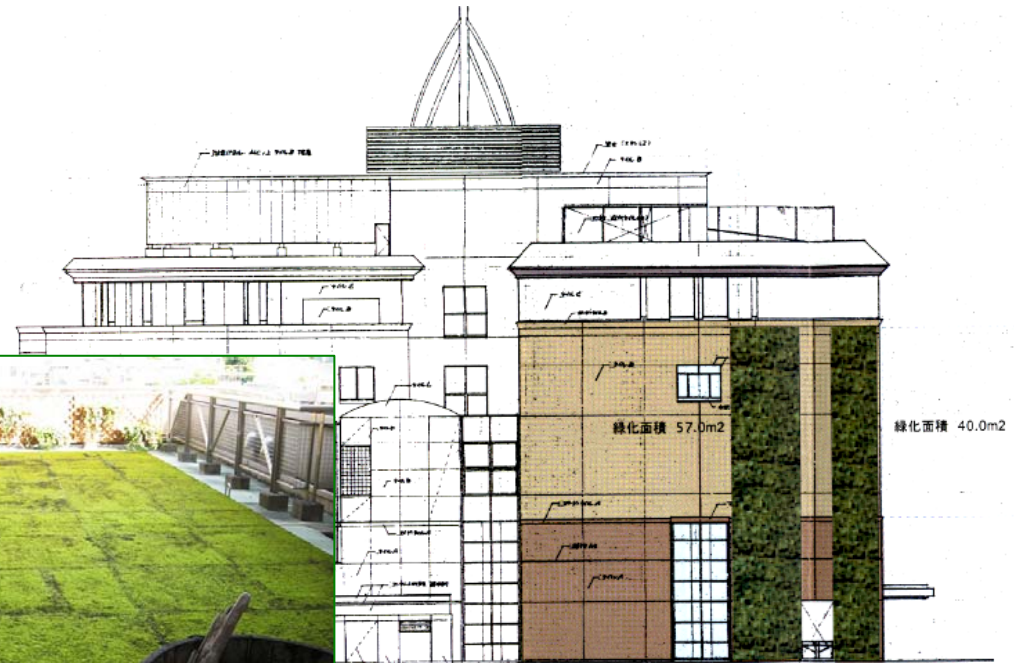
ビオトープ (biotop) から 生命圏 (biosphere) へ





「リーディングプロジェクト」

★区役所の緑化等、環境技術導入による
エコシティホール(環境展示場)化の推進



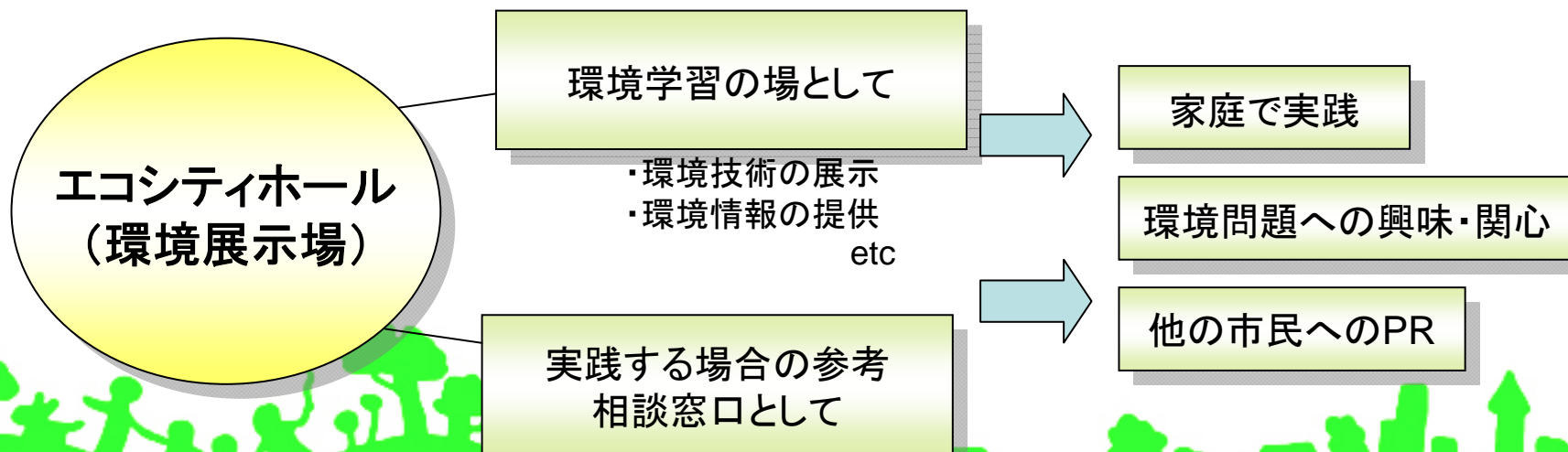
東面立面図



エコシティホール化の推進

区役所庁舎を有効に活用し、環境に配慮した庁舎内の取り組みを展示したり、紹介するツアーを行なっています。

屋上や壁面を利用した緑化を設置するなど、身近にできる環境の取り組みを紹介する場所として、区役所を「エコシティホール」と名づけて、来庁者の方々には、環境学習の場としてご利用いただいています。



「エコシティホール」へようこそ！

～区役所庁舎を環境展示場にする取り組みを行っています～

①4階中庭に緑のじゅうたん

乾燥に強い種類のコケを使用して屋上緑化を行っています。

土を必要とせず、軽量の緑化が可能となります。

また、水やりや刈り込みを必要としないため、手間がかかりません。



☆緑のカーテン☆

夏場の6～9月にかけて、川崎市の国内友好自治体である沖縄県那覇市から分けていただいたゴーヤーによる「緑のカーテン」を行っています。

建物の温度上昇を抑えて冷房の使用量を少なくすることができます。

また、たくさんのゴーヤーが収穫できます。



②つる植物による壁面緑化

区役所入口付近の壁面では、ステンレス製の枠を設置し、

日本生まれの植物である「スイカズラ」と「テイカカズラ」を使って壁面緑化を行っています。

これらの植物は、2018年頃には区役所5階まで伸びる予定です。



③職員手作りビオトープ

区役所地下駐車場の入口横には、職員手作りのビオトープがあります。

高津区の花であるスイセンやミカン、ユズを植え、チョウやトンボ達のご来庁をお待ちしております。

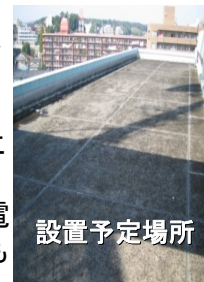


④屋上を有効活用！ 太陽光発電を実施

区役所屋上に太陽光発電パネルが設置される予定です。

集められたエネルギーは蓄電池に充電され、1階市民ホールで使用されるほか、緊急時や災害時にも使用されます。

また、1階に現在の発電量がわかる電光表示板も設置します。



⑤ボトルキャップが 憩いのベンチに

区役所から出たペットボトルのキャップがリサイクルされベンチに生まれ変わりました。

1脚あたり約13700個のキャップが必要です。



ご希望により、職員がご案内します。人数が多い場合などは事前にご連絡ください。

問い合わせ
高津区役所企画課
TEL.044-861-3131



「リーディングプロジェクト」

★緑のカーテン事業の展開



NECインフロンティア(株)



西梶ヶ谷小学校





緑のカーテン大作戦

緑のカーテンとは？



「自然のカーテン」

「天然のエアコン」



「緑のカーテン」とはつる性の植物を建物の壁などの側面で育て、日光を遮断する環境にやさしい自然のカーテン。

エ

緩和策と適応策から見た

なく街…

緑のカーテンの効果

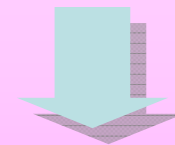


「緩和策」として

- ・植物の光合成によるCO₂削減効果
- ・エアコンの使用を削減することでヒートアイランド効果の抑制
- ・身近に出来る取り組みとして、市民の環境問題への興味・関心

「適応策」として

猛暑日・熱帯夜等の増加、
身近な自然の変化など季節
感の喪失



クールビズ、打ち水、
遮熱性舗装、
緑のカーテン



緑のカーテンの種類

キュウリ



ゴーヤー



インゲン



かぼちゃ



アサガオ



ヘチマ



高津区「緑のカーテン」大作戦の取り組み

★「緑のカーテン」講習会

(4月23日、24日)



★「レストランたかつ」でゴーヤーのメニュー(8月)

★「緑のカーテン」コンテスト参加者募集

(8~9月)



★「緑のカーテン」シンポジウム

【コンテスト表彰式】(11月)





2009 「緑のカーテン」コンテスト結果

応募者数 48件 個人部門 30件
団体部門 18件

個人部門最優秀賞

川辺 奈津女さん



団体部門最優秀賞

NECインフロンティア(株)



2009年のコンテストには、10企業が協賛し、参加者や受賞者へ賞品の提供を行なっている。



「リーディングプロジェクト」

★ エコエネライフコンクールなどの
普及啓発イベントの実施



第1回 たがつエコ・エネライフコンクール



個人・家族部門

最優秀賞 長村 吉洋さん

神奈川県および川崎市の環境リーダー養成講座を修了後、2005年の神奈川県環境学習リーダー会会員および2006年川崎地球温暖化対策推進協議会市民部会への参加をきっかけに、さまざまな環境問題に取り組んでいます。

小学校における環境教育の推進、市民向け環境講座の開催など、川崎市内での活動をはじめ、高津区では、二ヶ領用水ウォッチング・フォーラムに所属し、二ヶ領用水の清掃活動や高津市民館での講座、子どもたちへの環境教育の推進など、ボランティア活動を行っています。また、協働推進事業で行っている「かわさきかえるプロジェクト」による廃棄物の回収にも協力しています。



2008年7月29日 高津市民館公園にて開催した第9回「太陽と水ぼうし」

第1回 たがつエコ・エネライフコンクール



グループ部門

最優秀賞 エコたま

地球環境のために私たちが出来ることがないだろうか、そんな思いからわが子が通う幼稚園に、手作りの環境教育の企画を提案し、2008年にサークル活動を開始しました。

サークル発足時から地球温暖化防止紙芝居の作成に取組み、2009年7月には、全クラスで「ちきゅうおんだんかかってなまに？」という紙芝居を行いました。また、エコたまからの提案により、幼稚園で毎年買い換えていたバスパッチは、来年度から2年もしくは3年使用できるものに変更することが決まりました。

さらに、今年6月からは「かわさきかえるプロジェクト」と連携し、使用済みてんぷら油の回収も始めました。



幼稚園での紙芝居発表



手作りの紙芝居

最優秀賞 特別賞 若杉 和身さん

6年前から、太陽光発電と夜間電力を利用した、温水貯留装置を使用しています。今年4月から9月の6ヶ月間の発電量は、370KWでした。夜間電力を使用した温水貯留量は、年間を通じてお風呂やキッチンの洗いものに利用しています。

また、雨樋に数年前からゴミ用の大型ポリ桶を設置し、雨水を貯蓄し、雑水や打ち水に活用しています。



雨樋下に設置したポリ桶



太陽光発電

特別賞 山口 湧大さん

夏休みの自由研究で身近な環境の中から、水の汚れや排水のあたり方の違いについて、調査をしました。

川の水、水道の水、浄水鉢の水など、いろいろな水の汚れについて調べました。佐賀県の山の水はとてもきれいでしたが、水道水があまりにも汚れているのに驚きました。排水口の流さは、天候に関係なく差が強いことがわかりました。



水の汚れや排水のあたり方について調べました

最優秀賞 川崎市立新作小学校

夏休みに活用して取り組む自由研究のテーマの一つとして、エコ・エネライフコンクールを提示し、環境保全や節電活動について考えることの大切さを促しました。水の汚染、二酸化炭素の増加による環境への影響、紫外線の生活への影響、省エネ等に熱心を持った子どもが、身近な環境をもとにして調べ学習に取り組まれました。



コンクールの優勝をまとめたプリント



こどもが関わったよ!



第1位のゴミ検察

川崎市立橋保保育園

スカを使い生ゴミを堆肥させ、サツマイモなどの野菜栽培用の堆肥として使っています。生ゴミからエコ教育と食育の2つの効果を得ています。園から保護者へと取組みの輪を広げ、「楽しい!おいしい!」体験を続けていきます。

特別賞 かわさきかえるプロジェクト

平成20年9月から「使用済みてんぷら油の回収」を始めました。家庭で捨てられてしまう廃棄物を集めて、リサイクル石けん「きなりっこ」に作り変える、台所からの資源循環活動を推進しています。環境に関する学習会や講座の開催にも積極的に取り組んでいます。



使用済み油の回収



資源回収BOX

二ヶ領用水ウォッチング・フォーラム

2004年の高津市民館自主企画「夏休み親子学習」をきっかけに、二ヶ領用水のクリーンアップや水質調査活動、世帯単位による浄化活動などを実施しています。マジックハンド賞には2009年9月時点で延べ957名の方に参加いただけました。今後も二ヶ領用水のクリーンアップ活動への市民参加率を高めていきたいと考えています。



マジックハンド賞

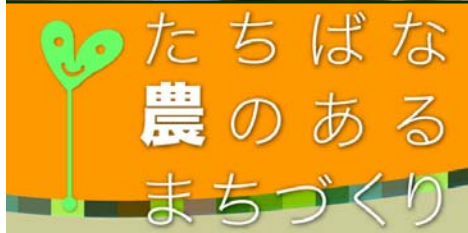


メンバーのみなさん



「リーディングプロジェクト」

★橋地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進



eco-city
takatsu

おわり